

基本目標 3

いきいきと学び 豊かな心を育むまち

教育・文化・
スポーツ

子どもたちを、学校、家庭、地域の連携により、明るく、仲良く、たくましく学びながら成長するよう、育んでいくとともに、誰もが生涯にわたって自主的・主体的に学びながら、創造性を高めていけるよう、学習環境や機会の充実を図ります。

また、郷土愛を深めるため、歴史や文化の伝承を進めるとともに、市民の文化活動やスポーツ・レクリエーション活動を通して新しい出会いや価値観を高め、ともに学び、豊かな心が広がるまちを目指します。

基本目標3
教育・文化・
スポーツ

- 学校教育

施策 **3-1** 子どもたちの生きる力を育み、可能性を伸ばすまちづくり 72
- 生涯学習

施策 **3-2** 一人ひとりが自ら学び、人生を豊かにするまちづくり 76
- 青少年教育

施策 **3-3** 青少年の健全育成を進めるまちづくり 78
- スポーツ

施策 **3-4** スポーツ・レクリエーションに親しめるまちづくり 80
- 芸術・文化・文化財

施策 **3-5** 豊かな心とふるさと意識を育むまちづくり 82

施策 3-1 学校教育
子どもたちの生きる力を育み、可能性を伸ばすまちづくり

目標

子どもたちが、新しい時代をたくましく生きていくために、確かな学力や豊かな人間性と心身の健やかな成長を育む教育が充実したまちを目指します。

現状と課題

核家族化や少子化、人間関係の希薄化などが進む中で、子どもたちを取り巻く環境は大きく変化し、学習意欲や学力、体力の低下が指摘されています。

子どもたちが地域社会や家庭のつながりの中で、たくましく生きていくためには、確かな学力、豊かな人間性、心身の健やかな成長を図るなど、「生きる力」を育む教育の一層の推進が求められています。

本市では、幼児教育から高校教育まで、それぞれの役割分担のもと、特徴ある教育が行われていますが、今後は、信頼される学校づくりとして、学校、家庭、地域の連携体制の確立や学校評価に基づく学校改善の取り組みが必要です。

いじめや不登校などの問題を抱えている児童・生徒への対応では、悩みや問題を解決することができるよう、*スクールカウンセラー等による教育相談体制の充実を図る必要があります。

また、支援が必要な児童・生徒一人ひとりの教育的ニーズを把握し、可能性を伸ばしていくために、教職員の専門性を高め、特別支援教育の充実を図る必要があります。

小中学校の教育環境については、児童・生徒が安全で安心して学習できる快適な環境づくりとして、これまで、学校施設の耐震補強工事や教育用コンピュータ、電子黒板等の整備を実施してきましたが、今後も学校施設の計画的な修繕等にも努めるとともに、児童・生徒の読書離れを改善するために、学校図書等の整備などにより、読書環境の充実を図る必要があります。

学校給食については、*地産地消を取り入れ、安全で栄養バランスの取れた給食を提供するとともに、食の安全・安心に対する保護者の関心が高まっていることから、衛生管理や食品管理の徹底を図った、給食センターの適切な運営管理を進めていく必要があります。

小学校および中学校の状況

(各年5月1日現在)

区分	小学校						中学校					
	学校数	学級数	児童数	1学級当たり児童数	校舎面積 (㎡)	1人当たり校舎面積 (㎡)	学校数	学級数	生徒数	1学級当たり生徒数	校舎面積 (㎡)	1人当たり校舎面積 (㎡)
平成17年	5	43 (7)	967 (11)	26.6	26,086	27.0	2	18 (2)	547 (2)	34.1	13,199	24.1
平成18年	5	45 (7)	960 (9)	25.0	26,086	27.2	2	19 (3)	508 (4)	31.5	13,199	26.0
平成19年	5	45 (9)	959 (12)	26.3	26,086	27.2	2	18 (3)	470 (3)	31.1	13,199	28.1
平成20年	5	47 (9)	964 (9)	25.1	26,086	27.1	2	21 (6)	465 (11)	30.3	13,199	28.4
平成21年	5	46 (9)	967 (10)	25.9	26,086	27.0	2	21 (6)	458 (10)	29.9	13,199	28.8

*()内は、特別支援学級や特別支援学級児童・生徒数を内数で表している。

(資料：学校基本調査)

幼稚園の状況

(各年5月1日現在)

区分	園数	学級数	在園児数
平成17年	1	8	194
平成18年	1	7	181
平成19年	1	7	170
平成20年	1	7	155
平成21年	1	7	141

(資料：学校基本調査)

高校の状況

(各年5月1日現在)

区分	学校数	生徒数
平成17年	2	512
平成18年	1	447
平成19年	1	395
平成20年	1	404
平成21年	1	437

(資料：学校基本調査)

基本事業とねらい

①教育環境整備の推進

老朽化した学校施設の修繕・改修や学習指導要領に沿った設備・教材等の整備を図り、児童・生徒が安全で安心して学習できる快適な教育環境づくりを進めます。

指標名	単位	現状値 (H21)	中間目標値 (H27)	最終目標値 (H32)
施設・設備・教材等の整備に満足している保護者等の割合	%	66.7	75.0	83.3

* 学校評価アンケートで、「満足」「やや満足」と回答した保護者等の割合

②就学の支援

幼稚園への就園を支援し、小学校へのスムーズな就学を図るとともに、就学後も義務教育を円滑に受けることができるよう、経済的理由により就学困難と認められる児童・生徒の保護者に対して必要な支援を行います。

指標名	単位	現状値 (H21)	中間目標値 (H27)	最終目標値 (H32)
幼児教育・小中学校教育に満足している市民の割合	%	53.8	65.4	77.0

* 市民アンケートで、「どちらとも言えない」「無回答」を除いたうち、「満足」「やや満足」と回答した市民の割合

用語解説

* スクールカウンセラー……学校において、いじめや不登校をはじめ、様々な悩みの相談に応じ、助言をするなど心のケアを行う専門家。

* 地産地消……地域で生産されたものを地域で消費すること。

③ 確かな学力を育む教育の推進

児童・生徒の基礎的・基本的な知識・技能の確実な定着を図り、自ら課題を見つけ、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、行動し、よりよく問題解決する資質や能力を育成します。

指標名	単位	現状値 (H21)	中間目標値 (H27)	最終目標値 (H32)
授業の理解度 (小学校) *1	%	75.7	81.8	87.9
授業の理解度 (中学校) *2	%	54.1	65.6	77.1

*1・2 全国学力・学習状況調査で、「国語・算数・数学の授業の内容はよく分かりますか」の問いに「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した児童・生徒の割合

④ 豊かな心を育む教育の推進

学校における道徳教育の充実を図るとともに、いじめや不登校等の未然防止や早期発見・早期対応を図るための連携体制や相談機能の充実を図ります。

指標名	単位	現状値 (H21)	中間目標値 (H27)	最終目標値 (H32)
いじめ防止に対する理解度 (小学校) *1	%	77.4	100.0	100.0
いじめ防止に対する理解度 (中学校) *2	%	54.7	100.0	100.0

*1・2 全国学力・学習状況調査で、「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」の問いに「当てはまる」と回答した児童・生徒の割合

⑤ 健やかな体の育成

運動を通じて体力を養うとともに、望ましい食習慣など、健康的な生活習慣を形成することで、子どもたちの心身の調和的発達を図ります。また、学校給食においては、地元農産物を利用した安心・安全な給食の提供に努めます。

指標名	単位	現状値 (H21)	中間目標値 (H27)	最終目標値 (H32)
基本的な生活習慣の定着度 (小学校) *1	%	80.5	85.4	90.3
基本的な生活習慣の定着度 (中学校) *2	%	77.1	82.8	88.6

*1・2 全国学力・学習状況調査で、「朝食を毎日食べていますか」及び「毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか」の問いに「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した児童・生徒の割合

⑥ 信頼される学校づくりの推進

学校、家庭、地域住民が連携しながら、地域に開かれた特色ある学校づくりを進めるとともに、教職員の資質や能力及び、専門性を高めることにより、信頼される学校づくりを進めます。また、砂川高校との連携を図り、単位制としての特色などの情報発信に努めます。

指標名	単位	現状値 (H21)	中間目標値 (H27)	最終目標値 (H32)
小中学校教育が充実していると思う市民の割合	%	53.3	65.0	76.7

* 市民アンケートで、「どちらとも言えない」「無回答」を除いたうち、「満足」「やや満足」と回答した市民の割合

⑦ 特別支援教育の推進

支援が必要な児童・生徒一人ひとりの教育的ニーズを把握して可能性を伸ばし、社会の中でたくましく生きる児童生徒を育成します。

指標名	単位	現状値 (H21)	中間目標値 (H27)	最終目標値 (H32)
心身に障害を持つ児童の就学支援が充実していると思う市民の割合	%	48.1	61.1	74.1

* 市民アンケートで、「どちらとも言えない」「無回答」を除いたうち、「満足」「やや満足」と回答した市民の割合



関係個別計画

- ・ 砂川市教育目標 (砂川市教育推進計画)
- ・ 砂川市次世代育成支援地域行動計画
- ・ 砂川市障害者福祉計画



施策 3-2 生涯学習
一人ひとりが自ら学び、人生を豊かにするまちづくり

目標

一人ひとりが生涯にわたって自主的・主体的に学習できる環境を充実し、学びの成果を家庭や地域に活かすことができるまちを目指します。

現状と課題

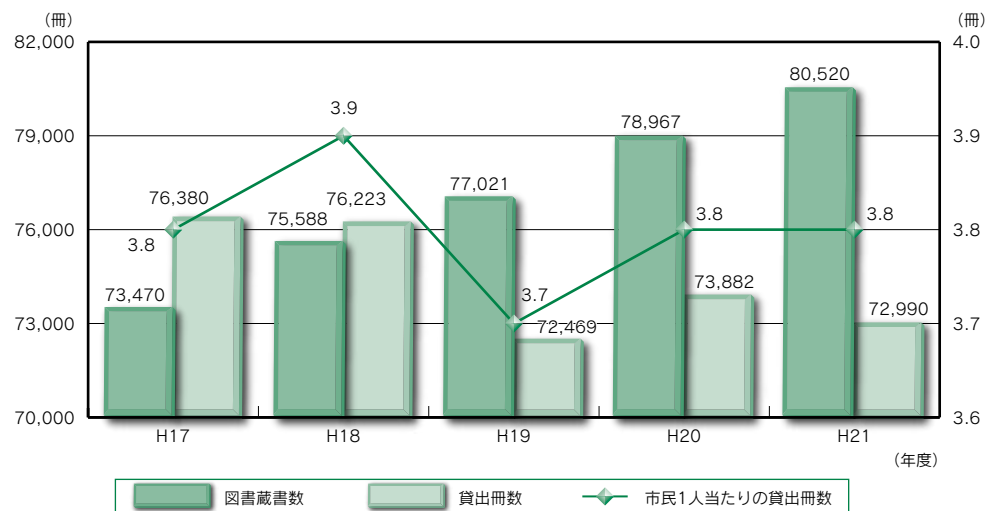
経済的な豊かさが増し、心の豊かさや生きがい求められる中、これからの社会を生き抜くための知識や技能を身につけるとともに、学んだ成果を家庭や地域に活かすことのできる環境の整備が求められています。

このことから、市民が主体的・意欲的に生涯学習に取り組むことができるよう、年齢や学習ニーズに応じた学習機会の提供や情報の提供が必要です。

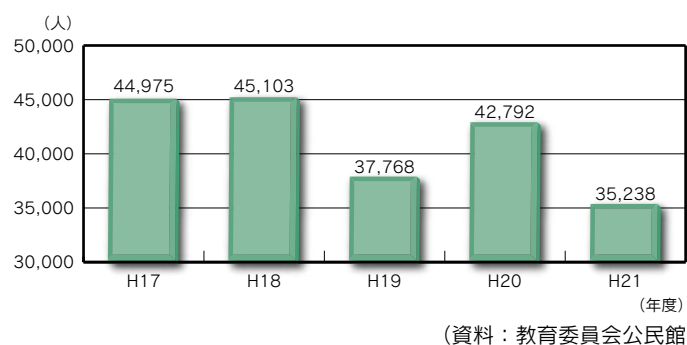
また、生涯学習の拠点となる公民館や図書館などでは、個人や団体が自主的に学習できる環境の整備を図るとともに、活動の輪が広がるよう、多様な学習ニーズに対応するためのボランティアの発掘や人材の育成、学習の成果が活用される取り組みを進めることが必要とされています。

さらに、本市の子どもが読書を通して人生をより深く生きる力を身につけられるよう、「子ども読書活動推進計画」に基づき、学校、家庭、地域が協力して、読書に親しむ機会の充実を図っていく必要があります。

図書蔵書数、貸出冊数及び市民1人当たり貸出冊数の推移



公民館利用者数の推移



基本事業とねらい

①生涯学習の充実

年齢や学習ニーズに応じた学習機会を充実させるとともに、人材の育成・確保などによる活動の体制づくりや情報提供を進め、市民の誰もが自ら学習できるよう、支援します。

指標名	単位	現状値 (H21)	中間目標値 (H27)	最終目標値 (H32)
生涯学習環境に満足している市民の割合	%	17.9	30.0	50.0

* 市民アンケートで、「満足」「やや満足」と回答した市民の割合

②読書活動の普及促進

学校、家庭、地域、行政が緊密に連携し、読書に親しむ環境の整備を進めるとともに、効果的・計画的に読書活動の機会を提供し、図書館や学校等において自主的に読書活動を行うことができるように努めます。

指標名	単位	現状値 (H21)	中間目標値 (H27)	最終目標値 (H32)
図書館における市民1人当たりの貸出冊数	冊	3.8	4.3	4.8

* 図書館における市民1人当たりの年間図書貸出冊数

③社会教育施設における学習活動の推進

公民館や図書館の施設機能を十分に活かし、地域の課題や社会的な課題、多様な教養などを、誰もが学習できる機会を提供することにより、市民一人ひとりが主体的に学び合える環境を創出します。

指標名	単位	現状値 (H21)	中間目標値 (H27)	最終目標値 (H32)
公民館利用者数	人/年	35,238	36,000	36,000

* 公民館の年間延べ利用者数



関係個別計画

- ・砂川市教育目標 (砂川市教育推進計画)
- ・砂川市次世代育成支援地域行動計画
- ・砂川市子ども読書活動推進計画

施策 3-3 青少年教育 青少年の健全育成を進めるまちづくり

■目標

学校、家庭、地域が連携して青少年とふれあうとともに、地域社会における安全確保や問題行動の解消に努め、青少年を健全に育成していくまちを目指します。

■現状と課題

核家族化や少子化、人間関係の希薄化などが進む中で、青少年の非行や犯罪が低年齢化・複雑化するなど、青少年を取り巻く環境は大きく変化しています。

心豊かでたくましい青少年の育成を図るためには、基本的な生活習慣を身につけさせ、自立心を育成し、心身の調和のとれた発達を促すことが求められており、そのためには、家庭の教育力の向上に向けた学習機会や情報提供の充実が必要です。

また、学校、家庭、地域がお互いに連携・協力し合い、青少年とふれあうことで、地域社会における安全確保や問題行動の解消に努めることが必要であり、「青少年健全育成市民の集い」や「あいさつ運動」などを通じ、市民意識のより一層の高揚を図りながら、育成活動につなげていくことが重要です。

さらに、青少年がボランティア活動や地域活動に積極的に参加することで、地域との交流を深め、ふれあいと温かみのある青少年健全育成活動を推進することが必要です。



■基本事業とねらい

①家庭教育の推進

保護者が家庭教育の重要性を認識し、子どもの自立心を育成し、心身の調和のとれた発達を促すことができるよう、学習機会の充実や情報提供を進めます。

指標名	単位	現状値 (H21)	中間目標値 (H27)	最終目標値 (H32)
家庭教育事業の参加者率*1	%	16.0	35.0	50.0
家庭教育事業参加者が事業に満足している割合*2	%	83.0	90.0	95.0

*1 家庭教育セミナーに参加した小中学校児童・生徒の保護者の割合

*2 参加者アンケートで、家庭教育事業の目的に対する達成度評価に関して、「十分達成されていた」「概ね達成された」と回答した参加者の割合

②地域で支える青少年健全育成活動の充実

学校、家庭、地域住民等がお互いに連携・協力し合い、子どもたちの安全・安心な居場所づくりや地域で子どもを見守り育てる環境づくりを進めるとともに、学生のボランティア活動への参加を促進するなど、青少年健全育成活動の充実を図ります。

指標名	単位	現状値 (H21)	中間目標値 (H27)	最終目標値 (H32)
学校支援ボランティア参加者数	人/年	2,612	3,400	3,700

* 春と秋の「あいさつ運動強調週間」への年間延べ参加者数



関係個別計画

- ・砂川市教育目標（砂川市教育推進計画）
- ・砂川市次世代育成支援地域行動計画

施策 **3-4** **スポーツ**
スポーツ・レクリエーションに親しめるまちづくり

■ **目標**

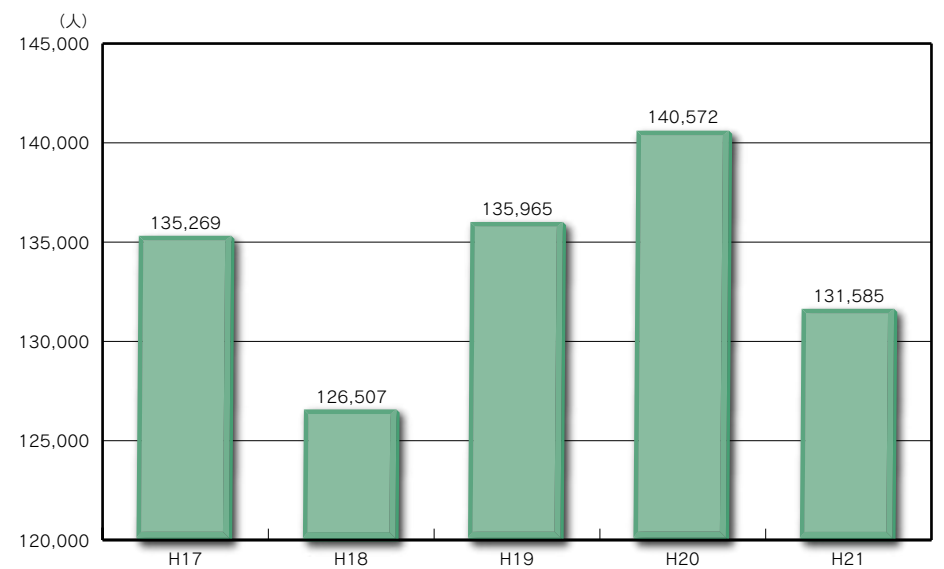
年齢や体力、技術に応じたスポーツ・レクリエーション活動の機会や場を充実させ、市民の誰もが気軽に運動を楽しみ、心身ともに健康に過ごせるまちを目指します。

■ **現状と課題**

自らの健康や体力の保持・増進に対する意識が高まる中、スポーツ・レクリエーション活動は、生活習慣病の予防や介護予防など、健康の増進に寄与し、高齢者の生きがいやコミュニティなどを創出するという面でも重要な役割を担っていることから、子どもから高齢者まで、誰もがそれぞれの体力に合わせて自由にスポーツ・レクリエーションに親しむことができる生涯スポーツの環境づくりが求められています。

このことから、スポーツ団体等の活動を支援し、スポーツ人口の維持や拡大に努めるとともに、市民がそれぞれのニーズに合ったスポーツ・レクリエーションに自発的に取り組むことができるよう、指導者の育成や活動の支援、各種スポーツ教室・イベントなどを開催するとともに、体育施設の計画的な整備を進めていくことが必要です。

スポーツ施設利用者数の推移



(資料：教育委員会スポーツ振興課)

■ **基本事業とねらい**

① **スポーツ施設機能の充実**

スポーツ活動を通じて市民の交流が図られるように計画的な施設整備を行うとともに、市民ニーズに応じた施設の利活用を図ります。

指標名	単位	現状値 (H21)	中間目標値 (H27)	最終目標値 (H32)
スポーツ施設利用者数*1	人/年	131,585	139,000	149,000
スポーツ・レクリエーション施設が充実していると思う市民の割合*2	%	30.6	40.0	50.0

*1 体育施設（総合体育館、海洋センター等8か所）の年間延べ利用者数

*2 市民アンケートで、「満足」「やや満足」と回答した市民の割合

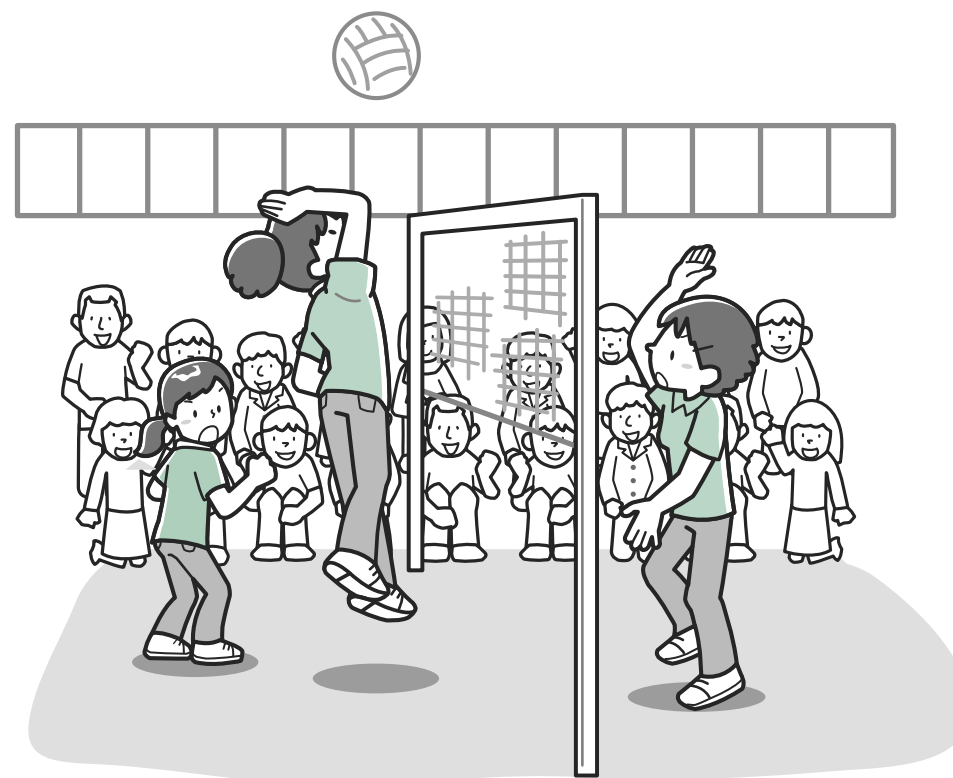
② **スポーツ・レクリエーション機会の充実**

スポーツ・レクリエーション団体等への活動支援や、地元指導者の確保・活用により、誰もがスポーツ・レクリエーションに親しめる環境をつくり、体力づくりや健康づくりを気軽に行うことができる機会の充実を図ります。

指標名	単位	現状値 (H21)	中間目標値 (H27)	最終目標値 (H32)
スポーツ団体数*1	団体	61	66	71
スポーツ活動への支援に満足している市民の割合*2	%	17.4	35.0	50.0

*1 体育協会加盟団体やスポーツ少年団等のスポーツ活動に取り組む団体数

*2 市民アンケートで、「満足」「やや満足」と回答した市民の割合



施策 **3-5** 芸術・文化・文化財
豊かな心とふるさと意識を育むまちづくり

■目標

市民が心豊かでうらおいに満ちた生活を送ることができるよう、芸術文化活動や鑑賞機会の充実を図り、新たな地域文化の創造を促すとともに、まちの個性や魅力でもある貴重な文化財や郷土資料の保存、継承等に努め、市民のふるさと意識が芽生えるまちを目指します。

■現状と課題

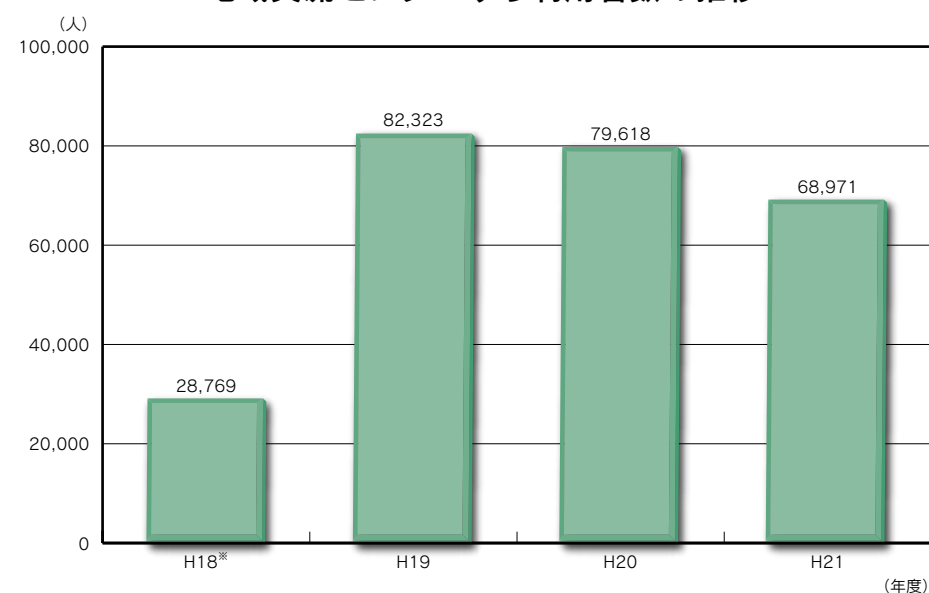
地域に根ざした文化活動や市民の創造性豊かな芸術活動は、地域の魅力や有形無形の資源を生み出し、地域生活を豊かにするなど、郷土愛を育むために重要な役割を担っています。

特に、交流や芸術文化を通してにぎわいと活力を創出することを目的に建てられた地域交流センターでは、市民自らの手で、催しの企画・開催や市民劇団が創設されるなど、ここを拠点として、芸術文化鑑賞機会の充実や新たな文化の創造が進められ、市民の芸術文化への関心を高めています。

このことから、より創造的で自主的な芸術文化活動を展開するため、芸術文化団体への支援を行うとともに、地域交流センターなどの文化施設の利活用を促進していく必要があります。

また、郷土の歴史や文化が広く知られ、後世に大切に継承されるよう、文化財保護条例に基づき、貴重な文化財や活動の保護・保存に努めるとともに、市民の協力を得ながら、郷土資料室の有効活用に向けた、資料の整理・保存作業を進める必要があります。

地域交流センターゆう利用者数の推移



* 平成19年1月にオープンしたため、平成18年度は1月～3月分の集計
 (資料：教育委員会社会教育課)

■基本事業とねらい

① 芸術文化活動の充実

市民が主体的に参加・実施する芸術文化活動が活発に展開されるよう、支援するとともに、芸術文化鑑賞機会の充実と新たな文化の創造を促進し、豊かな心の醸成を図ります。

指標名	単位	現状値 (H21)	中間目標値 (H27)	最終目標値 (H32)
地域交流センター利用者数*1	人/年	68,971	73,000	75,000
芸術や文化に親しむ施設や機会の充実が図られていると思う市民の割合*2	%	30.6	40.0	50.0

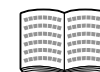
*1 地域交流センターの年間延べ利用者数
 *2 市民アンケートで、「満足」「やや満足」と回答した市民の割合

② 文化財・郷土資料の保存・活用

市民の協力を得ながら、文化財や郷土資料の発掘や適切な保護・保存に努めるとともに、これらの有効活用を図ることにより、郷土の歴史や文化が広く知られ、後世に大切に継承されるように努めます。

指標名	単位	現状値 (H21)	中間目標値 (H27)	最終目標値 (H32)
郷土資料室市民利用率	%	14.0	17.0	20.0

* 総人口のうち郷土資料室を訪れた市民の割合



関係個別計画

- ・砂川市教育目標 (砂川市教育推進計画)
- ・砂川市中心市街地活性化基本計画



